



尾崎士郎



坂口安吾

坂口安吾 × 尾崎士郎

安吾と士郎

ゆかりの地をめぐる

クイズラリー

開催期間

令和八年六月五日 → 十一月八日

伊東市文化財管理センター 企画展

尾崎士郎年譜

- 1898 (明治 31) 愛知県西尾市) に生まれる
- 1916 (大正 5) 早稲田大学政治科に入学、1919 年除名
- 1923 (大正 12) 宇野千代と結婚 (1930 年、離婚。)、古賀清子と結婚。
- 1933 (昭和 3) 長女一枝誕生。「人生劇場」を連載
- 1944 (昭和 19) 伊東市に疎開する (井田別荘。1950 年、向日別荘に転居)
- 1947 (昭和 22) 『謫居隨筆』刊行
- 1948 (昭和 23) 長男俵士誕生
- 1949 (昭和 24) 『ホーデン侍従』刊行
- 1954 (昭和 29) 「伊勢新九郎」連載。東京大田区に転居
- 1964 (昭和 39) 死去

坂口安吾年譜

- 1906 (明治 39) 新潟県新潟市に生まれる。本名は柄五。
- 1926 (昭和 元) 東洋大学印度哲学倫理学科に入学
- 1935 (昭和 10) 徳田秋声の文章批判を機に、尾崎士郎と終生の友となる。
- 1946 (昭和 21) 『墮落論』、『白痴』を発表、反響を呼ぶ。
- 1947 (昭和 22) 推理小説「不連続殺人事件」連載開始
- 1949 (昭和 24) 転地療養のため、伊東へ。古屋旅館に滞在。2 回の転居後、音無河畔の借家に落ち着く
- 1950 (昭和 25) 「肝臓先生」、「安吾巷談」連載始まる。
- 1951 (昭和 26) 伊東を離れる。翌年、群馬県桐生市に転居。
- 1953 (昭和 28) 長男綱男誕生。梶三千代と正式に結婚。
- 1955 (昭和 30) 桐生の自宅にて脳溢血のため、急死。

坂口安吾 × 尾崎士郎

開催期間中、ゆかりの地めぐりに参加して、クイズに答え、市立図書館または文化財管理センターにお持ち下さいます。企画展オリジナルの記念品を差し上げます。答えを3つの中から1つ選んで○をしてください。

Q1 尾崎士郎の文学碑に刻まれた尾崎士郎と交友のあった文学者の名前は？

- 1 川端康成 2 太宰治 3 尾崎一雄

Q2 安吾の作品「新魔法使い」にも登場する音無河畔の坂口安吾の借家跡には、いま、何が建っているでしょうか。

- 1 ひもの店 2 喫茶店 3 酒店

Q3 市立図書館の入口にある坂口安吾の代表作の一節が刻まれた顕彰碑で、安吾や士郎とも交友のあった天城診療所の先生は？

- 1 すい臓先生 2 肝臓先生 3 心臓先生

Q4 質問3の○○先生夫妻顕彰碑近くに、尾崎士郎が住んでいた貸別荘がありました。その名前は？

- ヒント 文学碑右の説明板中に答えが...
- 1 井田別荘 2 石原別荘 3 向日別荘

Q5 伊東家の菩提寺である東林寺の境内に、安吾の作品にも登場する人物で、相撲の決まり手の一つにもなったされる、伊東家ゆかり人物は？

- ヒント お寺の鐘の近くにありませう。
- 1 源頼朝 2 伊東祐親 3 河津三郎

※企画展「坂口安吾×尾崎士郎-伊東の人々と文豪の交遊譚-」が、伊東市文化財管理センターで、令和8年6月5日(金)から11月8日(日)まで開催しています。会期中、展示資料の入れ替えがあります。前期：6月5日～8月30日 後期：9月2日～11月8日

※記念品は、企画展の展示替えの際、変わります。

(問い合わせ先)

伊東市文化財管理センター

伊東市竹の台3番11号 電話 0557-36-2182